

K0329

120分

[注意事項]

- * 受験番号は受験票で確認し、算用数字で正確に記入してください。
- * 解答は、所定欄に楷書ではっきりと記述してください。
- * 試験問題と解答用紙（同一）は回収しますので、持ち帰らないでください。

受 験 番 号						
		—				

(フリガナ)	
氏	
名	

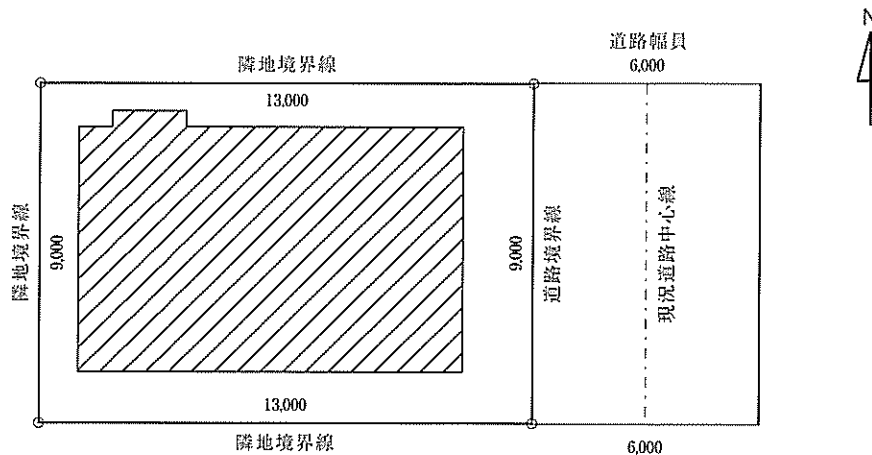
[問題1] 下記の建築物の解体工事を発注者から直接請け負った。あなたが責任者として、工事着工から完了まで現場を管理するとして、次の問1-1から問1-5までの質問に答えなさい。

[解体する建物の概要]

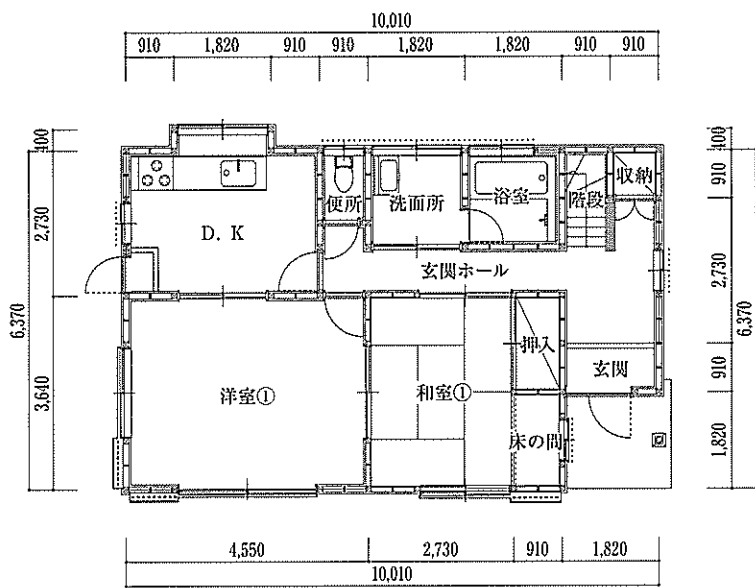
- (1) 敷地面積：117m²
- (2) 建築面積：64m²
- (3) 延べ床面積：99m² (1階 64m²、2階 35m²)
- (4) 構造：木造2階建て (在来軸組構法)
基礎はコンクリート造布基礎
- (5) 用途：住宅 (1978年竣工)
- (6) 外部仕上げ：外壁 ラスモルタル塗り・リシン吹付け
屋根 日本瓦 (粘土瓦：葺き土なし)
屋根ふき面積は80m²
- (7) 内部仕上げ：天井・壁 せっこうボード下地クロス張り

[立地・作業条件]

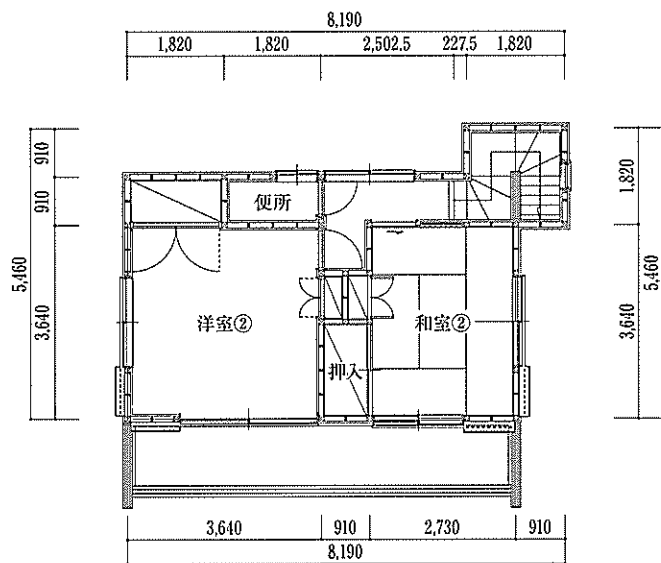
- (1) 近隣は密集した住居地域にある。
- (2) 駐車禁止地区であるため、車両は道路に止められない。
- (3) 作業時間は、午前8時より午後5時までとする。



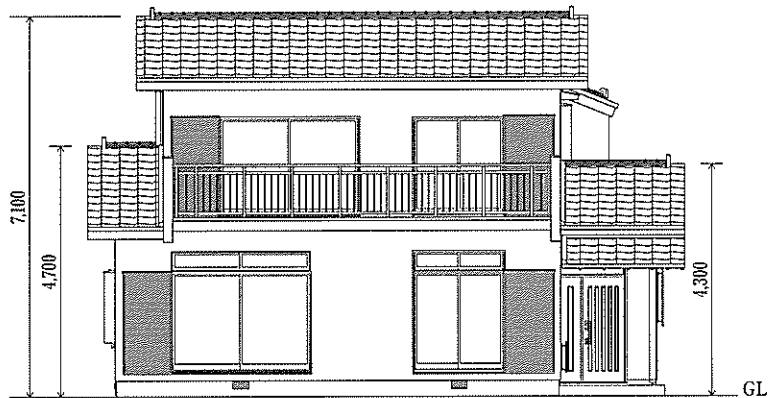
配置図



1階平面図



2階平面図



南侧立面図



東側立面図

問1-1 当該解体工事前の事前調査を行うとき、特に必要と思われる調査項目とその留意事項を、次の欄に3つ記述しなさい。

(1) :

(2) :

(3) :

問1-2 屋根材の撤去作業における安全上の留意事項について、具体的に記述しなさい。

(1) 取外し作業 :

(2) 瓦おろし作業 :

問1-3 外壁材および軒天材は石綿を含有している可能性がある。その事前調査における留意事項を、2つ記述しなさい。

(1) :

(2) :

問1-4 外壁材に石綿が含有していた場合、その撤去作業において必要な措置を、2つ記述
しなさい。

(1):

(2):

問1-5 当該建築物を分別解体して発生する「木材」および「粘土瓦」の、およその発生量
を 内に記入しなさい。

(1) 木 材 : 約 トン

(2) 粘土瓦 : 約 トン

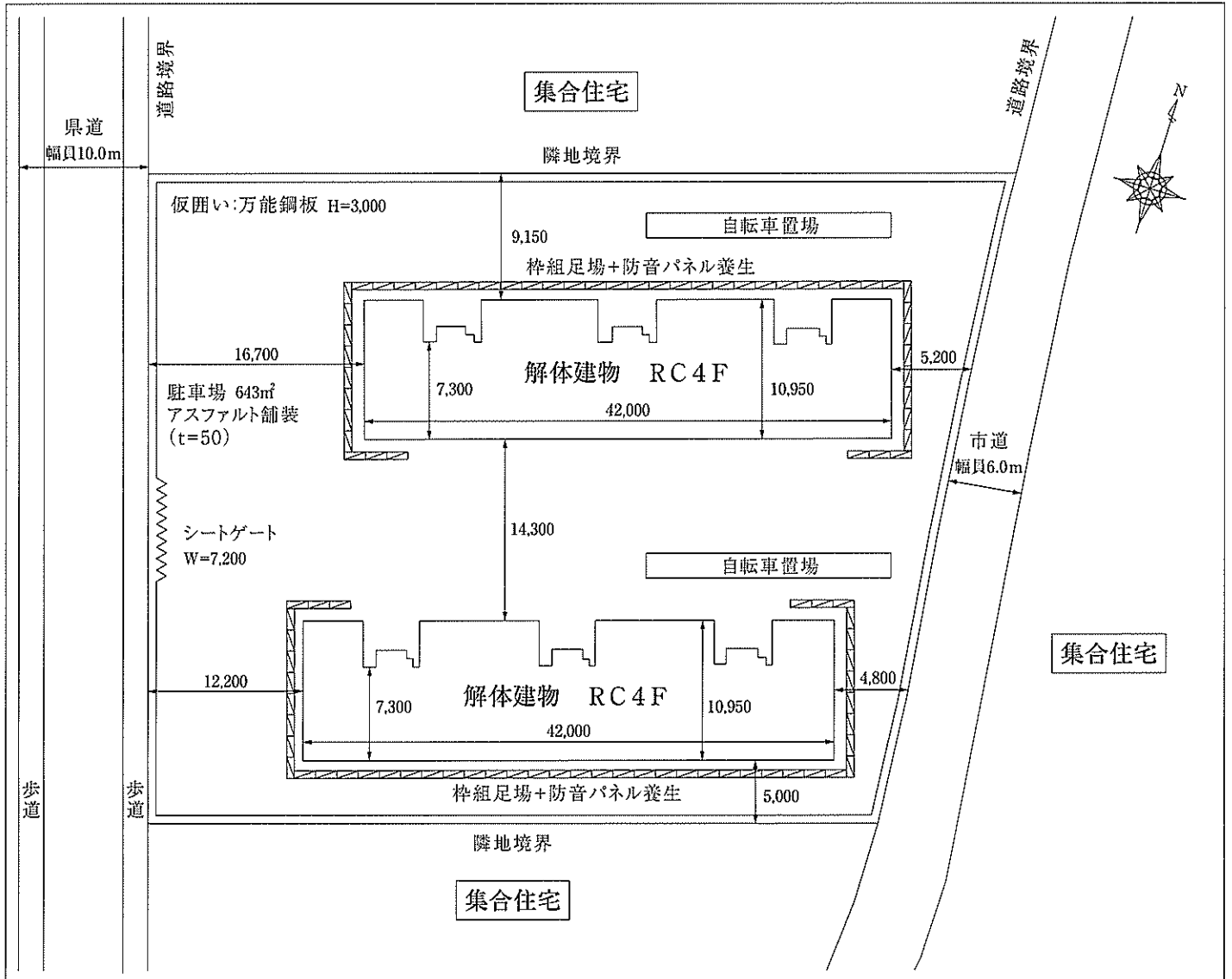
[問題2] 下記の鉄筋コンクリート造建築物2棟（2棟は同じ仕様）の解体工事を発注者から直接請け負った。地上解体工法により解体工事を行う場合、あなたが責任者になって工事着工から完了まで現場を管理するとして、次の問2-1から問2-5までの問題に答えなさい。

[解体する建築物の概要]

- (1) 構造：鉄筋コンクリート造・ラーメン構造
基礎は既製コンクリート杭打ちフーチング基礎
- (2) 建築規模：4階建
建築面積 各棟 372m^2 （2棟合計 744m^2 ）
軒高 11.2m
- (3) 延床面積：各棟 $1,361\text{m}^2$ （2棟合計 $2,722\text{m}^2$ ）
- (4) 用途：共同住宅

[立地・作業条件]

- (1) 当該敷地は公営住宅団地内にあり、敷地周辺には同様の集合住宅が存在している。
- (2) 敷地西側道路の幅員は10.0m 敷地東側道路の幅員は6.0m。
- (3) 西側の車道及び歩道の交通量は多い。
- (4) 作業時間は、午前8時から午後5時までとする。
- (5) 敷地境界には高さ3mの万能鋼板の仮囲いを設置し、各解体建物の外周3面には桝組足場と防音パネルを軒高より1.5m上まで設置する。
- (6) 建物のフーチング基礎は撤去し、杭は撤去せずに存置とする。
- (7) 敷地内には建物の他、アスファルト舗装駐車場や自転車置き場がある。



問2-1 当該解体工事を円滑に行うために必要な事前準備作業を、3つ記述しなさい。

(1)

(2)

(3)

問2-2 当該解体工事において、安全面からの注意が必要と思われる事項を、4つ記述しなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

問2-3 騒音・振動規制法の特定建設作業に関する以下の説明文について、括弧内に示された文言のうち、適切な文言を○で囲みなさい。

敷地の（ 端部 ・ 中央 ）において、（ 振動 ・ 騒音 ）が常時75dB以上、
（ 振動 ・ 騒音 ）が常時85dB以上となる作業を継続して行う場合には、事前に
（ 市町村長 ・ 労働基準監督署 ）に対し、特定建設作業実施届の提出が必要となる。

問2-4 当該解体工事から発生するコンクリート及び鉄筋のおよその発生量（2棟合計）を の中に記入しなさい。

コンクリートの発生量： 約 トン

鉄筋の発生量： 約 トン

問2-5 この解体工事を下記の条件により施工する場合について、バーチャート工程表を作成しなさい。

【条件】

- (1) 主として圧砕工法で施工する。
- (2) 着工から完了までの実稼働日数は90日とする。
- (3) 解体範囲：建物はフーチング基礎まで解体（杭は存置）し、敷地内の自転車置き場・アスファルト舗装についても撤去する。
- (4) 使用重機：0.7m³バックホウロングブーム（15m） 1台
0.7m³バックホウ 2台
- (5) 運搬車両：隣接道路には重量による通行規制はない。
- (6) 気象条件：悪天候その他のトラブルはないものとする。
- (7) 事前措置：近隣挨拶、各種許可等の手続、既存設備の休廃止等は完了している。
- (8) その他：石綿含有建材は使用されていない。

【工 程 表】

		日数								
		1	11	21	31	41	51	61	71	81
1 号 棟	仮囲いの設置									
	内装材の撤去									
	建物の養生									
	上屋の解体									
	土間基礎の解体									
2 号 棟	内装材の撤去									
	建物の養生									
	上屋の解体									
	土間基礎の解体									
外構の解体										
整地・片付け										
発生材の搬出										

【問題3】 大型台風が接近する予報があった場合、現在施工中の木造2階建て建築物の解体工事現場において、留意すべき事項とその対策を3つ記述しなさい。

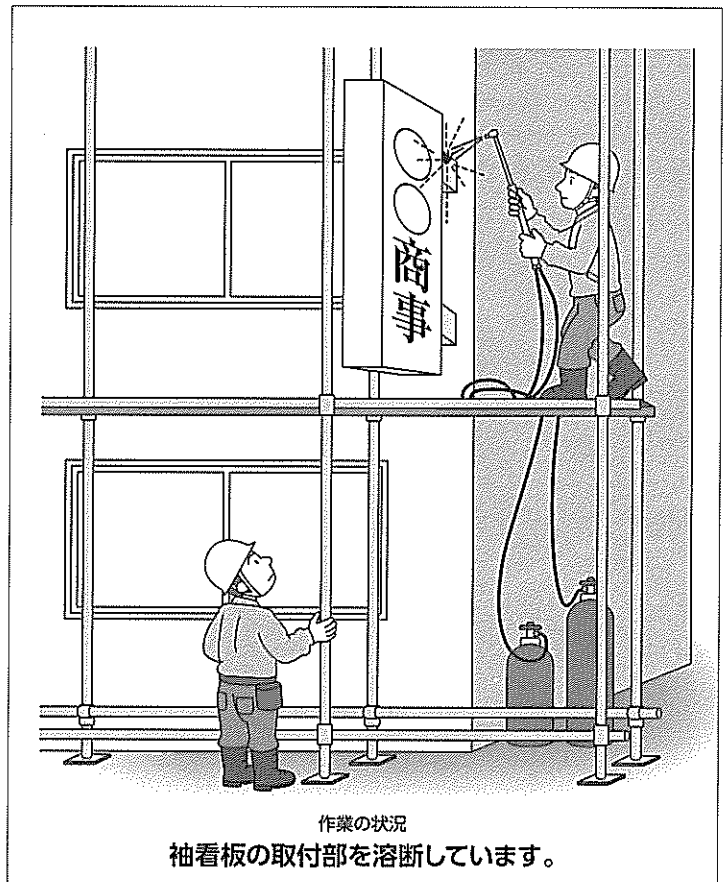
ただし、内装材・建具は撤去済み、養生用防音シートは設置済みの状態にある。

留意すべき事項	そ の 対 策
①	
②	
③	

[問題4]

右図のような作業を行う際、どのような危険が予想されるか。

危険要因を3つ挙げて、それぞれについて安全対策・事前措置を記述しなさい。



危険要因	安全対策・事前措置
①	
②	
③	

